

令和4年度 事業方針

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は、令和元年12月に中国で感染者が報告されて以来、変異を繰り返しながら拡大し、いまだ終息に至っていない。

しかし、ワクチン接種の普及や感染防止対策の実施、治療薬の開発などにより、悲壮感に覆われた当初の状況を脱し、アフターコロナへと向かいつつある。

今後、曲折を経ながらも状況の改善が図られ、令和4年度は、日本経済も徐々に平常化し、岸田政権の政策とともに成長軌道へと進むことが期待される。

貿易を巡っては、令和4年1月のRCEP発効といった追風の方で、米中衝突の先鋭化や、様々な国際紛争の懸念、原油価格の高騰、中国経済の動向など、世界経済の先行き不透明感を拭えない。

さらには、温室効果ガスの削減、デジタル技術の活用、少子・超高齢化への対応などの課題が山積している。

横浜貿易協会は、時代の要請をとらえながら、貿易及び関連産業の健全な発展と、地域経済の振興に貢献する事業に引き続き取り組んでいく。

- 1 貿易及び関連事業の振興に資する事業並びに、海外への販路拡大や販売促進に意欲をもつ県内事業者の支援を積極的に推進する。
- 2 「横浜貿易協会の存在」と「貿易及び関連事業の重要性」について、より理解を深めてもらうため、講演会や研修事業などを開催し、積極的に事業者や県民、市民に周知する。
- 3 公益事業の充実・強化を図るとともに、コロナ禍で発揮できなかった会員相互の交流事業を復活させ、互いの絆を深めつつ協会の求心力を確保し、運営基盤の盤石化と会員増強につなげていく。
- 4 公益社団法人として、法や各種規定に定められた事務処理、経理等の運営や内部統治の遵守に留意し、事業計画に沿って計画的に業務を執行していく。
- 5 横浜貿易会館は歴史的に価値が高く、会員にとって貴重な財産であり、重要な収入源でもあることから、引き続き適切な維持・管理・補修に努める。

令和4年度事業計画

I 管理関係

1 会員の増強

協会の目的達成の基盤となる会員確保のため、協会事業の積極的な推進などを通じ、正会員及び賛助会員の加入促進に努めていく。

令和4年度会員獲得目標 2社

II 会 議

1 総 会 第184回総会

日 時 令和4年5月25日(水) 時間は未定

- 議 題
- 1 令和3年度事業報告について
 - 2 令和3年度収支決算について
 - 3 役員の選任について

第185回総会

日 時 令和5年2月15日(水) 時間は未定

- 議 題
- 1 令和5年度事業計画について
 - 2 令和5年度収支予算について
 - 3 役員の選任について

* 内容は直前の理事会で決定

2 理事会 8、12月を除いて審議すべき議案あるときに開催する。

3 評議員会 理事会と合同で開催する。

4 企画運営委員会

会長、副会長及び会長が委嘱する委員で構成し、事業計画、収支予算などの重要な課題について検討を行う。

年間4回程度

Ⅲ 事 業

1 講演会の開催

貿易及び関連事業の重要性を広く周知するため、貿易記念日及び創立記念日に講演会を開催する。講演後には、会員相互の交流を図る場を設ける。

(1) 貿易記念日講演会(6月28日(火))

貿易記念日の認識を新たにし、貿易振興に向けた意識を高めるため、記念講演会と会員交流会を開催する。

(2) 創立記念日講演会(11月1日(火))

横浜貿易協会創立117周年を記念し、講演会と会員交流会を開催する。

2 幹部セミナー等の開催

毎月原則として第3水曜日に講師を招いて、経済・社会等に関する時宜を考慮したテーマについてのセミナーを開催する。

(1) 幹部セミナー 理事、監事を対象、理事会に併せて開催：5回(4、6、7、10、11月)

(2) 合同セミナー 理事、監事及び評議員を対象、理事会評議員会合同会議に併せて開催：2回(9、3月)

(3) 会員セミナー 正会員対象、総会会に合わせて開催：2回(5、2月)

3 普及啓発事業

(1) 横貿月報の発行

インタビュー記事、協会事業の活動報告、今後の事業予定、新入会員の紹介、また調査や情報収集の内容などを記事とし、隔月で発行する。

(2) 横貿年報の発行

当協会の会誌として、1年間の事業報告、活動状況を編纂し発行する。
併せて、1年間の地域や日本、世界の経済の動きなどを掲載する。

(3) パネル展の開催

市民に広く貿易の役割や重要性について関心を持っていただくため、横浜の貿易の歴史や現状などを写真やグラフにして展示する。

(4) 「子どもアドベンチャー」への参加

夏休みを体験学習の機会ととらえ、学校では学ぶことができない体験・発見をテーマとした横浜市の「子どもアドベンチャー」に参加し、貿易の役割や重要性、横浜と世界のつながりについて考えるプログラム「夏休みこども貿易教室」を企画・実施する。

日 時 8月の夏休み中の1日

対 象 小学生とその保護者

4 貿易に関する相談

海外への進出等、貿易関連事業を展開する際に生じる様々な問題について、令和5年に開催されるテクニカルショウヨコハマなどで、来場者等に対して適切な指導・助言を行う。

5 海外進出支援事業

海外への販路開拓や販売拡大に意欲をもつ神奈川県内の事業者への支援として、海外市場に関するセミナーの開催、海外バイヤーとの商談の機会の提供、海外での展示会への出展を行い、貿易の振興に資する。

FOOD JAPAN 2022 in Singapore への出展（予定）

時 期 10月下旬（予定）

場 所 サンテック・シンガポール・コンベンション&エキジビション・センター

（予定）

6 貿易研修事業

貿易及び関連業務に携わっている方、海外への進出を検討している方、貿易に関心のある方を対象に、実務の理解や業務の向上に資するため、基礎、実務、英文 E メールおよび施設見学コースを順次実施し、基本的な知識の習得を支援する。

(1) 基礎コースⅠ（対面研修）

日 時 5月16日(月)、18日(水)午前10時～午後4時

内 容 貿易実務のポイント、輸出の流れ、海上輸送、船積書類、貿易関連企業・

税関の仕事、決済条件、信用状、輸入の流れ、輸入書類、船荷証券、関税の仕組み

場 所 横浜市内会議室

(2) 基礎コースⅡ（対面研修）

日 時 7月12日(火)、14日(木)午前10時～午後4時

内 容 貿易取引とは、国際物流、インコタームズ、契約までの流れ、船荷証券・保険証

券、決済条件・外国為替、演習（英文契約書、信用状・インストラクション）

場 所 横浜市内会議室

(3) 実務コース（オンライン研修）

日 時 9月6日（火）、8日（木）、9日（金）午前10時30分～午後3時30分
内 容 ①関税の実務
②通関の実務
③外国為替の銀行実務
④貨物保険の実務
⑤海運貨物の実務
⑥航空貨物の実務

(4) 英文Eメール（対面研修）

日 時 11月7日（月）・9日（水）午前10時～午後4時
内 容 英文ビジネスEメール作成の基礎
場 所 横浜市内会議室

(5) 見学コースⅠ（対面研修）

日 時 10月中の午後1時～午後4時
内 容 港湾施設、コンテナヤード及び港湾荷役の視察・見学
場 所 未定

(6) 見学コースⅡ（対面研修）

日 時 12月中の正午～午後6時
内 容 空港内輸出入上屋、冷蔵冷凍倉庫、燻蒸施設の視察・見学
場 所 未定

7 優良貿易従業員表彰事業

貿易関連業界の将来を担う人材を育成するため、貿易及び港湾運輸倉庫など関連企業に勤務する優秀な従業員を表彰し、業務意欲の一層の高揚を図り、貿易及び関連業界の振興を目指す。

表彰式の概要

日 時 6月28日（火）午前中
場 所 横浜市内ホテル
被表彰者 10名程度
備 考 表彰式の後、同日開催予定の貿易記念日会員交流会において披露する。

8 貿易振興事業

貿易及び関連産業の発展と地域経済の振興のため、次の事業を行う。

(1) 輸出品の原産地証明事業

輸出に係る生産品の原産地証明事業を実施する。

(2) 新春賀詞交換会の開催

関連機関や団体と会員が交流し、情報交換を行い相互の理解を深める。

(3) 全国中小貿易業横浜連盟の運営事務

中小貿易業者の発展のため、全国中小貿易業連盟の業務の委託を受け、税制等諸問題について、討議・要望活動を行う。

(4) 一般社団法人横浜インドセンターとの連携

横浜貿易協会が設立した同法人の事業と連携協調し、インドとの貿易振興に貢献する。

9 貿易振興融資事業

横浜市内の中小貿易関係業者の事業活動に必要な資金融資の円滑化を図り、企業の健全な発展及び振興に資するべく運営事務を行う。

(1) 輸出資金、輸入資金及び倉庫港湾運輸資金等の融資斡旋を行う。

(2) 金融制度の広報、啓発活動

(3) 説明会の開催

10 横浜貿易会館保全管理

(1) 保全管理

昭和4年建築の横浜貿易会館の適切な保全管理に必要な修繕や定期的な検査を実施する。

(2) 貸室賃貸事業

貿易関係業者等に事務所や店舗として提供し、収入源の確保に努める。

(3) 横浜貿易会館連絡協議会

入居者との情報交換等により連絡を密にし、テナントの業務向上の一助となるよう努める。

(4) 保全工事、耐震対策等

横浜貿易会館の安全性確保のため、耐震補強工事を行うとともに、外壁改修工事に向けた調査と検討を行う。

1 1 貿易関係官公庁、関係団体との連携・協調・要望活動

貿易及び関連産業の健全な発展と地域経済の振興に寄与するため、関係機関との連携協調及び要望活動を行う。

(1) 関係団体との連携、関係自治体及び県内関係商工業団体との協調

①貿易関連団体及び県内関係商工業団体との連携

②会員の意向実現に向け、自治体や団体と連携し関係機関に要望、意見具申

(2) 叙勲・褒章等各賞受賞祝賀会の開催(経済七団体との共催)

(3) 貿易振興に関する内外展示会、講演会等の後援

1 2 会員へのサービス

(1) 優良貿易従業員表彰への社員推薦

(2) 会員セミナー・会員交流会への無料参加

(3) 貿易研修講座の優先受付並びに受講料の割引

(4) 輸出品の原産地証明手数料の割引

(5) 会議室使用料の割引

(6) 横貿月報、横貿年報の送付